情報処理安全確保支援士特定講習　講習情報

NRIセキュアテクノロジーズ株式会社

セキュアEggs応用編（インシデント対応）

実施機関名	NRIセキュアテクノロジーズ株式会社		
講習名	セキュアEggs応用編（インシデント対応）		
特定講習番号	22-010-033		
講習形態	リモート形式又は集合形式	定員（１回あたり）	20 名
受講日数	1 日間	受講時間	8 時間
受講料	110,000（円/税込み）		

対象分野 <ITSS+（セキュリティ領域）>	主な分野	セキュリティ監視・運用	関連分野	セキュリティ統括 セキュリティ調査分析・研究開発

講習内容	インシデントとその対応をステップに分けて学んだ後に、グループワークを実施し、インシデント発生への準備と対応プロセスを学びます。 グループワークではある組織のCSIRTメンバーの一員としてロールプレイしていただきます。ロールプレイの中で受講生は提示されたインシデントに関する情報をもとにどこに対してどのような指示を出す必要があるのかをかなどを検討してインシデント発生から収束までの一連の流れを修得していただきます。
具体的な到達目標	以下の知識及びスキルを修得することで、インシデント対応の一連の流れを行うことができるようになる ・インシデント対応の各ステップにおいて関係各所へ適切な指示や情報の提供を行うことができる ・サイバーセキュリティ防御における限界の理解した上で脅威ハンティングなどの新しい対策の検討を行うことができる
修得できるスキル	・インシデント発生に伴うビジネスへの影響の考え方 ・インシデント対応の各ステップにおける対応方法 ・インシデントによって得られた教訓を活用した再発防止策の検討 ・脅威インテリジェンスとハンティングの考え方
講習の理解・習得のために推奨される実務経験	なし
講習の理解・習得のために推奨される知識・技術	ITやセキュリティの基礎知識を有する方。(弊社セキュアEggs 基礎編相当のスキルを持つ方) TCP/IPを理解していて、基本的なOSとアプリケーション(ミドルウェア)の構成要素がわかる(企業内ネットワークやWebサービスのシステム・ネットワーク構成の概要がわかる) FWやアクセス制御、IDS、IPSの利点・欠点の概要を理解している
技術・知識の到達度の把握・測定方法	・実機による演習の実施状況の確認 ・講師からの問いかけへの対応の確認
修了認定の判断基準	・出席率80%以上 ・知識や技術習熟度に関しては、講演習の取組み状況や講師からの問いかけへの対応状況などをもとに、担当講師が総合的な判断を行う
修了認定基準に満たない受講者への措置	・知識や技能習熟度が基準に達しない受講者は、再受講(有償)となる
受講者に対するサポート体制	対面、リモート形式ともに、講師およびティーチングアシスタントがフォローを行う。対面の場合は直接会話、リモートの場合はSlackやZoomのブレイクアウトセッション機能を使い、サポートを行う。
講習実施施設所在地	集合形式で開催する場合は、開催の都度、講習実施施設を確保する
ホームページ	https://www.nri-secure.co.jp/service/learning/eggs_incident